(その三)

工場又は事業場の名称	横浜容器工業株式会社 千葉工場

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 1	2 1								

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

当社の重点設備である外面塗装設備について直接燃焼方式での設備検討を進めています。
設備検討段階の問題として、使用する燃料エネルギーの増大、大幅な設備レイアウトの変更が
必要となるなど、２２年度中の設備の竣工、排出量削減率の目標の達成が困難な見通しです。
また、大きな効果が期待できる塗料・溶剤の低ＶＯＣ化については引き続き実施し、目標削減率で
ある３０％近づけられるよう取組ます。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 1	2 1								